

東シナ海ブロック水産業情報

No. 128(2025年1月~3月)

増養殖情報

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
	<p>○筑前海 ・【カキ養殖】 筑前海全体の生産量は平年並み。カキ小屋での販売を中心に出荷。 一部の海域で、昨夏のへい死の影響で収穫量が減少。 【ワカメ養殖】 一部の海域で、栄養塩不足により収穫量が減少。 【アカモク養殖試験】 種苗生産したアカモク幼体を、沖出し養殖試験を実施。</p> <p>○有明海 ・ノリの冷凍網出庫は、早いところで年末頃、遅いところでは2月初旬頃から開始された。 ・栄養塩が少ない状況が続く、色落ちは漁期終了まで継続した。ノリ網は4月17日までに撤去、支柱は4月30日までに撤去が終了した。 ・12月に発生したキートセロス属の珪藻赤潮は、優占種が1月上旬にはリゾソレニア属、2月上旬にはユーカンビア、3月下旬にはスケルトネマ属へと変遷しながら継続した。 ・最終的な生産枚数は7億7千5百万枚(過去5年比73%)、生産金額191億6千9百万円(過去5年比129%)、平均単価24.74円(過去5年比+10.82円)であった。</p> <p>○豊前海 【カキ養殖】 ・平年並み 【栽培関連】 ・「かぐや装置」によるアサリ稚貝生産、網袋による干潟での放流試験を実施中。</p>	<p>○有明 ・カキ養殖 大浦地区の令和6年度のマガキ養殖生産は、6月下旬から7月中旬にかけて、まとまった降雨があったものの、カキの大量斃死はなく、順調に養殖が行われ、定生産状況は21.9トンと昨年よりも多い状況であった。令和7年度生産は、令和7年1月に種ガキを搬入し開始されている。搬入された種カキは、大浦地先の干潟で抑制飼育を行い、養殖筏への種カキの垂下は、4月中旬から順次行われ本養殖が開始されている。</p> <p>・ノリ養殖 冷凍網の出庫は、令和7年1月23日以降行われたが、ユーカンビア赤潮が発生するとともに、まとまった降雨が3月上旬までなかったことから、全域で色落ちする厳しい海況となった。秋芽網期と冷凍網期を併せた生産枚数は約9.6億枚となった。これは、平成5年以降、過去2番目に低いものとなったが、昨年度に引き続き高単価であったことから生産金額は約233億円と平年比110%の生産金額となった。</p> <p>○玄海 ・アカウニ30万個飼育中</p>		<p>プリ: αレンサ球菌症(Ⅱ型)</p>

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県
	<p>一般財団法人宮崎県水産振興協会で生産されたアカアマダイ稚魚200尾(TL73mm)を令和7年2月18日に水産試験場に受入れ、受精卵確保のための親魚として養成中。</p>		